

【惑星の友好敵対関係及び、友好星位と、敵対星位の導き出し方】

まず、各惑星の友好敵対関係を調べるのに惑星のムーラトリコーナの配置に注目します。

	Ma 0-12	Mo 3-27	
Sa 0-20	ムーラトリコーナ		
			Su 0-20
Ju 0-10		Ve 0-20	Me 15-20

惑星がある惑星と友好か敵対かを調べるには、惑星のムーラトリコーナのハウスからみて、2、4、5、8、9、12室目にある星座を支配する惑星は友好惑星となります。

一方、3、6、7、10、11室目にある星座を支配する惑星は敵対惑星となります。

通常、惑星は2つの星座を支配するので、両方とも友好の条件を満たせば、文句無く友好となります。また両方とも敵対の条件を満たせば敵対となります。但し、一方が友好惑星で、一方が敵対惑星だったりする場合がある為、友好 + 敵対で、中立惑星とします。またこの法則を満たさない3つの例外があるため、それは覚えておく必要があります。

友好惑星	惑星のムーラトリコーナの配置から数えて、2、4、5、8、9、12室を支配する星座の支配星
敵対惑星	惑星のムーラトリコーナの配置から数えて、3、6、7、10、11室を支配する星座の支配星
3つの例外	金星にとって木星は敵対となるはずだが、金星は木星が支配する魚座で高揚するため、木星は中立惑星となる。そして射手座と魚座は中立星位となる。
	月にとって金星は6室を支配するので、敵対惑星となるはずだが、月は金星が支配する牡牛座で高揚するため、金星は中立惑星となり、牡牛座と天秤座は中立星位となる。
	火星にとって土星は敵対となるはずだが、火星は土星が支配する山羊座で高揚するので、土星は中立惑星となり、山羊座と水瓶座は中立星位となる。

例えば、金星を例に上げると、金星のムーラトリコーナの星座は天秤座です。

Ju 6th	Ma 7th		Me 9th
Sa 5th	Ma 2th - 7th --- 中立 Ju 3th - 6th --- 敵対 Sa 4th - 5th --- 友好		Mo 10th
Sa 4th	Me 9th - 12th --- 友好 Mo 10th --- 敵対 Su 11th --- 敵対		Su 11th
Ju 3th	Ma 2th	Ve 1th	Me 12th

天秤座をラグナとすると、火星は2室と7室を支配します。これは友好惑星の条件と、敵対惑星の条件を満たすため、中立惑星となります。火星は金星にとって中立惑星です。そして、火星が支配する蠍座と牡羊座も金星にとっては中立星位となります。

木星は天秤座から見て3室と6室を支配します。3室も6室も敵対惑星の条件に該当するため、木星は金星にとって敵対惑星です。但し、ここで3つの例外のうちの一つが適用されて、金星は魚座で高揚するので木星は一つ繰り上がって、中立惑星となります。金星にとって射手座と魚座は中立星位となります。

次に土星ですが、土星は天秤座から見て4室と5室を支配するので、両方とも友好の条件を満たすため、友好惑星となります。土星は金星にとって友好惑星です。また土星が支配する山羊座、水瓶座も友好星座となります。但し、実際には、山羊座は自室で、水瓶座はムーラトリコーナの座であり、星位は友好星座より上となります。

次に水星ですが、水星は天秤座から見て9室と12室を支配しており、両方とも友好星座となるため、水星は金星にとって友好惑星です。また水星が支配する双子座は友好星座となります。但し、乙女座は金星が減衰するハウスなので、双子座は友好星座ですが、乙女座は最低星位です。

このように3つの例外法則以外が友好、敵対の条件を満たすかどうかで判断をし、最高星位、最低星位とぶつかった場合は、最高星位、最低星位を優先します。

この導き出し方をマスターしておけば、惑星の友好敵対関係や、友好星位、敵対星位を覚える必要がありません。その都度、ルールを使って導き出すだけです。そのルールを使って導き出す過程は、頭の中で、チャートを描き出し、惑星を配置する訓練となるため、有効な方法です。

因みにこのようにして導き出された惑星の友好敵対関係は以下のようにまとめることができます。